

	コード	名	称	区分	コード	名	称
事業名	807-1	スポーツ活動振興事業		会計	01	一般会計	
				款	10	教育費	
				項	06	保健体育費	
基本 施策	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する		目	01	保健体育総務費	
				細目	451	スポーツ活動振興事業	
行革大綱の重点事項番号				7	細々目	51	スポーツ活動振興事業
担当部課	コード	450800		担当者 氏 名	福谷日出夫	連絡先	22 - 9680
	名 称	スポーツ振興課					(内線) 3836

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)		スポーツに関心のある市民、スポーツを実践している市民		※対象件数
成果(どうする)		多様なスポーツ活動へ個人・団体・地域等での参加する機会が確保される。		
根拠法令・要綱等		教育委員会関係補助金等交付要綱		
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度		
H21	・市民スポーツフェスティバルの開催(競技種目＝卓球・バレーボール・ソフトボール・綱引・グランドゴルフ・ゲートボール・ターゲットパードゴルフ・カローリング)			
事業内容	・伊賀上野シティマラソンの開催(ハーフ・10km・5km・3km・ジョギング)			
	・忍びの里レディーストーナメントサッカーの開催			
	・青山高原つつじクォーターマラソン大会の開催(10km・5km・3km)			
	・伊賀フットボールクラブへの助成			
	・体育祭りの開催(島ヶ原・阿山・大山田・青山)			
	・各種スポーツ大会の開催(いがまち・島ヶ原・阿山・大山田)			
社会情勢の変化等				

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
	伊賀フットボールクラブ活動(教室・講習会数)	回	目標	目標	105	110
			実績	実績 102		
	事業数(委託事業数)	回	目標	目標	13	13
			実績 13	実績 13		

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
	参加者数(市民スポーツフェスティバル・マラソン)	各種事業への参加者数による評価	人	目標 4500 実績 4570	目標 4600 実績 6104	6200	6300
	各種スポーツ大会参加者数(いがまち、島ヶ原、阿山、大山田)	参加者数による評価	人	目標 実績 2412	目標 実績 2202	2250	2300

投入 コスト			H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
	直接事業費計 (A)		(千円) 17,325	(千円) 16,264	(千円) 13,258	(千円) 13,258
	A の 財 源 内 訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他		7,177	6,202	6,202
		一般財源	17,325	9,087	7,056	7,056
	事業投入人件費 (B)		1.2 人 8,640	3.0 人 21,600	3.0 人 21,600	3.0 人 21,600
	フルコスト(A)+(B)		25,965	37,864	34,858	34,858

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)			備考欄(特記事項)	
必 要 性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業			
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業			
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業			
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業			
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業			
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業			
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業			
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業			
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業			
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業			
有 効 性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】			
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業			
達 成 度	当初設定した計画を 予算の繰越の有無	80%以上100%未満 無	【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】			
効 率 性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。			
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。			
	【事業名】			
	受益者負担を求めることができる事業である。	○		
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○		
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。			

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
改善策	市民スポーツフェスティバルについては、実施種目のマンネリ化と参加者の固定化傾向から新たな種目の編入の検討を行う。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 市民スポーツフェスティバルについては、新種目(カローリング)を導入した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	松本和久
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】
	マラソンについては、参加者も増えてきており、春と秋の風物詩として定着している。市民スポーツフェスティバルについても新種目の導入を試みるなど市民ニーズを反映させていることから現状維持が望ましい。ただ、支所で実施している体育まつりと各種スポーツ大会は、23年度をもって廃止の予定である。
現時点における 課題、その他	体育協会を本来のすがたにするべく、各支部を廃止し、あわせて経費の節減につなげたい。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	平成24年度から各支所の体育まつりと各種スポーツ大会の受け皿となっている体育協会の各支部を廃し、本来の体育協会と経費節減を実現させる。